

## 重点目標実績報告

### 令和4年度の重点目標

#### ◎『安全』

- ・4年度も新型コロナウイルス感染予防対策にて行事やクラブ活動の開催はほとんど出来なかった。  
外出の機会や活動の機会が少ない中で、ご利用者は部屋や談話室で過ごす時間が多く、全体的な筋力低下、機能低下、認知症の進行がみられた。職員数も余裕はなく、施設内（職員にて）行える体操や歩行運動等を感染状況みながら行う事が精いっぱい状況だった。
- ・体調の変化に応じて静養室の利用や居室変更、また簡易ベッドからの立ち上がりを補助するための介護用品や歩行補助具などを適切に見直しや試行しながら、利用者自身が出来る事の継続支援をおこなった。
- ・職員自身がいつ感染するか分からない不安もあったが日ごろから行動や体調管理に留意し、勤務中のマスクや消毒等の感染対応、またスタンダードプリコーションの徹底、施設内の換気・消毒を実施した。
- ・職員はご利用者の発言や行動から受ける心的負担・業務の煩雑さからくる身体的負担・職員同士の関係性など精神的なストレスもあり、施設長や主任等が話を聞くなどのメンタルケアを行った。体調が優れない時に無理をする事が無いように、勤務を交代しやすい環境作りや他部署が協力できるように連携をはかった。

#### ◎『礼儀ただしさ』

- ・ご利用者との日常会話において親しげに会話を行うことも多いが、TPOに応じた言葉選びや対応が出来るように職員研修や職員会議、委員会活動内において学びを行った。  
特に研修においては、職員一人一人が日々の勤務態度について定期的に振り返る機会となっている。

#### ◎『効率』

- ・自分の勤務時間内に仕事が終わる様取り組んでいる。また、毎朝の朝礼やミーティング帳においての申し送りの仕方、ケース入力法に注意し、伝達が必要な事項が確実に伝わるように各自努め、また個人個人が情報取得を意識的に行い、「知らなかった」「聞いていない」が減りスムーズな業務に繋がるよう努めた。
- ・休憩時間と勤務時間のメリハリをつけ、効率よく業務を行い空き時間を担当利用者との余暇時間として過ごしたり、ミニカンファレンス等に充てられるよう工夫した。

#### ◎『毎日が笑（SHOW）』

- ・面会や外出制限が続く中で、職員や多入所者との会話、交流が日々の充実には重要な役割を占める事を意識し、まずは職員同士が楽しく仕事をする事でひまわり寮が明るい雰囲気になるよう努めた。  
また、常に感染状況に注視し、面会、外出、買い物等の緩和、支援を行った事でストレス緩和に繋がったと思う。
- ・職員も感染対応をしながら外出やレジャー等を少しずつ楽しむ事もでき、職員同士が協力し有給休暇を取得した。業務上での心配事や不満等を上司や同僚が聞く時間を設けメンタルヘルスケアに取り組んだ。

### 【施設サービスの質の向上】

- \* 継続入所者に関しては、ADL及び認知症等の維持改善に努めるとともに、疾患の状況等に関して日々の経過観察及び主治医連携に努め体調管理を行った。また利用者の意向を出来るだけ尊重しながら笑顔で元気に生活できるよう支援を行った。
- \* 退院前のご利用者については、入院先の病院関係者とカンファレンスや連絡を密にとり、スムーズに施設復帰が出来るようにした。状況はご家族にも随時連絡し、退院後の状況等も連絡を入れた。
- \* 自治会にて希望の多かった『お墓参り』『買い物』の機会を設けた。
- \* 養護一般利用者については生活支援の向上に繋げられる自立支援計画を作成し支援を行った。
- \* 読書が趣味の利用者も増えたので、自治会と相談しながら月刊誌などの定期購入を行った。
- \* 特定施設の利用者に関しては、生活ニーズに基づく施設サービス計画の作成及びサービスの提供を行ない自立支援へのサポートを行った。

### 【職員の資質向上】

- \* 新入職員が3名あり、経験値等をふまえたオリエンテーションを行った。とくに接遇やコンプライアンスに関する研修は、未経験の職員に対して重視し、介護技術や介護機器の取扱い等はOJT研修にて丁寧に行った。
- \* 外部研修の機会が少なかったため、施設内研修にてWEBや資料を用いて、できるだけ多種類の研修機会や資料提供を行った。
- \* 統一されたケアを行うため、申し送りや各種会議等での職種間の連携を強化し、全員で取り組み、達成させる組織作りに励んだ。申し送り不足等があるため、連携の仕方について検討が必要と思われる。
- \* 外部研修の多くが中止となったが、オンライン研修がある物は参加を行った。
- \* 社会福祉士（2名）・介護支援専門員（1名）・介護福祉士（1名）受験した。  
（介護福祉士1名合格）

### 【入退所調整業務】

- \* 1か月平均入所者数：56.42人（月平均入院者：1.3人）  
15名の新規入所者があったが、退所も15名と同数あり満床にできなかった。  
また、長期入院を要する退所は3名であったが、入院後1日～20日と短期間で死亡された方が7名と例年より多く見られたが、90歳以上で内科的疾患での入院は施設復帰がなかなか難しい現状であると感じた。  
新規入所については、各行政機関と情報交換を密に行ったが、入所希望者のADL状況が対応困難な状態が多く入所者の決定には時間がかかった。特に男性の入所希望者は少なく苦慮した。

## 実践事項

### 1. 相談援助

#### 『暮らしの継続』を念頭においたケアの実践

- \* 新規入所者については、在宅時での生活状況、好きな事など詳しく伺う事で入所後の話のきっかけとなり、まずは職員と顔なじみとなりその後他利用者とも交流が図れるよう配慮をおこなった。
- \* 継続入所者については、施設サービス計画を立て身体状況の変化や健康状態に留意し、身体、生活面の支援を定期的に見直すとともに、なかなかご家族と面会できない状況においても把握ができるように支援おこなった。

#### 『聴く・伝える・共感する技術をたかめる』

- \* 日頃からご利用者との会話の時間を積極的に作った。なんでも相談日において1人1人から要望や相談をうけ、必要に応じてご家族へ代弁したり、職員間で共有した。ご利用者それぞれに、生活習慣や考え方が違うため些細な事でトラブルが起きる事もあったが、双方の話をききながら仲裁をしたり、対応を検討した。

#### 『地域とのつながりを大切にする』

- \* 3月に高校生のインターンシップを久しぶりに受け入れた。実習生との時間がご利用者にとっても久しぶりで楽しい時間となった。
- \* 日向市社会福祉協議会と各福祉施設が協同でおこなっている『買い物ツアー』を感染状況に応じて行った。

### 2. 日常生活介護

#### ◎『利用者の人権を尊重し、能力に応じ自立した生活を支援します』

入浴 : プライバシーに配慮し、見守りや介護を行い常に安心して入浴が行えるよう支援した。入所者自身が順番を把握できるようボードで掲示・繰り返し声掛けを行った。介護においては自立を促し、出来ない箇所の支援を心がけた。入浴時には全身状態の確認を行い皮膚疾患や転倒等痕跡の確認を実施した。皮膚疾患について、軟膏や保湿剤を定期的に塗布し改善に努めた。足の爪を確認し、爪切りが必要な方を早期発見し対応した  
入浴日 月・水・金曜日（女性）／ 火・木・土曜日（男性）

- \* 排泄 : 排泄チェック表の活用・職員間の連携をより充実させ、排泄の声掛け・支援が過不足なく実施し、気持ちの良い排泄につなげた。いろいろな紙パンツや尿取りパットを試し、ご利用者の状態のあった物を使用した。排便確認等も行い排便困難者に関しては、水分摂取・歩行や軽運動の促進、緩下剤等にて調整を行った。パソコン入替時に現ソフトにてできる事の見直しを行い、排泄チェックやバイタル入力等活用する事で、さらに情報の共有が出来るようになった。



- ・ 各種クラブ活動                      舞踊・音楽療法（中止中）園芸・カラオケ・工作を実施
- ・ 機能回復訓練                      月1回（中止中）
- ・ 歩行運動                              毎週水曜日 おやつ後
- ・ 個別リハビリ                        随時
- ・ 脳トレ（プリント）                不定期
- ・ ナビウエーブ                        不定期
- ・ 自転車ペダル漕ぎ                 不定期

## 5. 健康管理

- \* 利用者の健康状態を把握し、疾病の早期発見・早期治療に努めた。
  - ・ 健康診断実施（4月・10月）
  - ・ 瀧井病院・治田歯科・やまうち泌尿器科 定期往診
- \* 医師・薬剤師の指導のもと適切な服薬・配薬管理を行った。
  - ・ 受診結果や処方内容について、適切な申し送りをした
  - ・ 内服自己管理利用者をモニタリングし、内服忘れを予防・状況に応じて変更。
- \* 感染症マニュアルをもとに季節性インフルエンザ・ノロウイルスその他の予防に努めた。  
新型コロナウイルスに関する研修やガウンテクニックなどの手技、ゾーニングやマニュアル作成など発生に対応する協議をすすめた。
  - ・ 新型コロナワクチン予防接種（希望者）
  - ・ インフルエンザ予防接種（11月25日:48名）
  - ・ 肺炎球菌予防接種（対象者 6名）
  - ・ 食前の手洗いの励行
  - ・ 施設内の消毒施行（ジアッシュの散布を必要に応じ1～2/日・人が多く集まる場所にジアッシュの噴霧器設置）
  - ・ 毎朝の検温（利用者）・出勤前検温（職員）の実施

## 6. 栄養管理

- \* 栄養バランスや献立内容・味付けのほか身体的条件に応じた食事形態等を考慮し、季節感のある家庭的な雰囲気です食事を提供した。
- \* 食事摂取量の向上を図るため、利用者の食べたい物を伺い献立へ反映した。
  - ・ 栄養指導の実施                      過体重・低体重・高血圧・糖尿病等など対象者への個別指導
  - ・ 衛生管理の徹底                      調理室・倉庫の清掃・消毒の定期実施、害虫駆除、検便  
特に気になる点を月間目標として、一人ひとりが清潔に対して意識を高く持つように取りくんだ。
  - ・ 嗜好調査及び個別対応              嗜好調査の実施、個別聞き取り
  - ・ その他                                各種研修会への参加、行事食の充実、適時・適温給食の実施

自治会が出る意見でも食事に関する事が多く、栄養士が行事食や給食へ反映し提供した。  
また、ご家族からの差し入れ食品がだんだんと

## 7, 事故防止

- \* 職員個々の意識及び知識を高めるとともに小さな気付きを職員相互で共有し事故防止に努めた。
  - ・ 事故報告書・ヒヤリハット報告書
  - ・ 事故対策委員会、事故発生予防委員会、事故発生予防研修会の実施
  - ・ 車いす・杖・歩行器・シルバーカーの定期点検
  - ・ 市町村役場等との連携
- \* 事故発生時には家族及び医療機関との連携を取り適切な対応を行った。
- \* 職員の業務時間帯・内容と見守りが手薄になる時間帯を検討・調整し、見守りの充実をはかり事故防止につなげた。
- \* 自室での単独行動において転倒リスクの高い利用者については、ご家族への説明の元センサーの活用や、居室を変更しながら、未然に防ぐ取り組みを行った。
- \* 和室(簡易ベッド)からの立ち上がりが困難となっている利用者へ立ち上がり補助の機器を準備した。
- \* 事故発生の多い利用者の事故原因を検討し、居室内の導線、履物、見守り方法、内服薬等について検討しリスク軽減に努めた。しかし、ご利用者の危険認識力の低下、身体機能低下等などの要因から対応が難しいケースも多いのが現状である。

## 8, 苦情への対応

- \* 苦情受付から解決までの体制整備を図り、利用者や家族等が苦情を申し出やすい環境整備に努めた。
- \* 日ごろの挨拶・会話を大切にご利用者の要望・不満をすくい上げ、苦情に発展する前に解消できる様努めた
- \* 本人の意向や出来る事等を共有しながら、必要な支援について都度検討し職員の処遇にバラつきがない様にする事で「あの人はここまでしてくれる」等の不満が出るリスクを軽減した。
- \*
  - ・ 面会時等での家族との定期的面談
  - ・ 自治会及び日常の生活の中での利用者からの聞き取り
  - ・ 気付きノートの作成、なんでも相談日に個別に聞き取り
  - ・ 苦情解決委員会の開催 ・ ご家族からの意見を伺う

## 9, 社会活動の参加と地域交流

- \* 日向市社会福祉協議会と日向市内の介護施設が協同して行っている「買い物ツアー」にて財光寺地区の高齢者の送迎を担当した。

## 10, 環境美化・防災対策

- \* 環境整備に関しては常に清潔を保ち利用者が快適で安全に生活が送れるよう維持管理に努めた。
  - ・ ご利用者の生活を豊かにする委員会にて環境整備や機器点検をおこなった。
  - ・ 日常の清掃・消毒等は自治会の協力も頂き実施した。
- \* 防災対策としては日常の防災設備の整備・点検の実施・緊急時の連絡対策の整備を図るとともに、災害時には適切な判断・対応が出来るよう消防計画に基づき防災訓練を出来る限り毎月実施した。BCPの机上訓練を行い、災害時の状況を想定し対応の検討をおこなった。

## 1 1, 事務管理

- \* 資産・備品等の適切な管理と整備
- \* 適切な管理による経費削減
- \* 環境整備の強化
- \* 車輛運行の安全管理
- \* 防災対策への強化

## 1 2, 施設設備等

- \* 消防用設備定期点検
- \* 居室エアコン取替（5台）
- \* 事務所カウンター棚 撤去工事（白蟻駆除）
- \* パソコン入替・タブレット2台追加
- \* 食堂エアコン修理
- \* 居室畳表替え
- \* 中村消防非常誘導灯取替
- \* 食堂アクリル板取替購入
- \* 汚水枳工事（竹寮）
- \* 地下タンク内面ライニング工事（日向市事業）

《行事・催し物》

令和4年度

月 日	内 容	特 記 事 項
4月14日	昼食選択食	丼ぶり選択
4月16日	4月誕生会	
5月 6日	母の日プレゼント	女性利用者へハンカチ
5月19日	5月誕生会	
5月26日	お弁当の日	
5月31日	O氏 100歳のお祝い会	ご家族2名参加
6月 9日	衣料品販売	カヤシマ衣料品
6月16日	6月誕生会	
6月19日	父の日	男性利用者へハンカチ
6月23日	昼食選択食	パン選択
7月7日	参議院選挙 期日前投票	利用者(9名)
7月28日	7月誕生会	
8月12日	盆供養	
8月13日・15日	お盆行事(迎え火・送り火)	
8月18日	8月誕生会	
8月25日	喫茶の日	フルーツサンド
9月5日~9日	墓参りドライブ(希望者)	
9月15日	敬老会祝賀会・9月誕生会	記念品(トートバック)
9月22日	彼岸供養	
10月13日	秋のお祭り(レクリエーション)	
10月20日	10月誕生会	
11月10日	衣料品販売	カヤシマ衣料品
11月15日	買物ドライブ	[ コスモス・うめこうじ・ たかやま・ホームワイド ]
11月16日	買物ドライブ	
11月17日	11月の誕生会	
11月25日	選択食	めん類選択
11月25日	インフルエンザ予防接種	利用者(48名)
12月8日	大掃除	
12月15日	12月誕生会	
12月22日・23日	冬至(ゆず湯)	
12月22日	もちつき	
1月 5日	新年お祓い	
1月10日	鑑開き(ぜんざい)	
1月19日	1月誕生会	
2月 3日	まめまき	
2月16日	2月誕生会・N氏100歳御祝い会	



3月 9日	3月誕生会	ご家族3名参加 正法寺
3月13日	Y氏100歳 御祝い会	
3月17日	彼岸供養	

《 上記以外 》

- |             |      |                 |      |
|-------------|------|-----------------|------|
| ・ カラオケクラブ   | 1回/月 | ・ 工作クラブ         | 不定期  |
| ・ 舞踊クラブ     | 1回/月 | ・ 機能回復訓練        | 1回/月 |
| ・ 音楽療法      | 1回/月 | ・ 売店            | 1回/週 |
| ・ 屋外散歩等歩行訓練 | 随時   | ・ 屋外園芸活動・個別リハビリ | 不定期  |
| ・ 自治会総会     | 1回/月 | ・ 体重測定・血圧測定     | 1回/月 |

## 外部研修参加状況

令和4年度

月 日	内 容	参 加 職 員
6月27日	ケアマネ更新研修	事務員
6月28日～29日	ケアマネ更新研修	計画作成担当者
7月 1日	栄養士研修会（オンライン）	栄養士
7月 1日	ケアマネ更新研修	事務員
7月4日～	介護施設における安全対策担当者養成研修	施設長・生活相談員
7月12日	ケアマネ更新研修	事務員
7月19日	ケアマネ更新研修	事務員
7月21日	ケアマネ更新研修	計画作成担当者
7月29日	ケアマネ更新研修	事務員
8月 4日	ケアマネ更新研修	事務員
8月 5日	ケアマネ更新研修	計画作成担当者
8月10日	ケアマネ更新研修	計画作成担当者
8月12日	ケアマネ更新研修	事務員
8月21日	ケアマネ更新研修	事務員
8月23日	ケアマネ更新研修	計画作成担当者
8月30日	ケアマネ更新研修	事務員
9月 1日	ケアマネ更新研修	計画作成担当者
9月 2日	社会保険制度講習会	事務員
9月 5日	ケアマネ更新研修	計画作成担当者
9月12日～	施設入所・退所時の事務手続き等対応研修	生活相談員
10月 5日	ケアマネ更新研修	計画作成担当者
10月 6日	ケアマネ更新研修	計画作成担当者
10月 9日	介護支援専門員試験	支援員
10月18日	ケアマネ更新研修	計画作成担当者
10月19日	外国人介護人材受入定着セミナー（オンライン）	施設長
11月 2日	社会福祉協議会施設連絡会・全体研修	生活相談員・計画作成担当者
11月 4日	ケアマネ更新研修	計画作成担当者
11月10日	ケアマネ研修	計画作成担当者
11月21日	第三次産業労働災害防止研修会	施設長・事務員
11月25日	日向市就職説明会	施設長・事務員
12月 6日	経営に関する指導強化事業講評	施設長・生活相談員
1月29日	介護福祉士国家試験	支援員
2月 4日	社会福祉士国家試験	事務員・支援員
2月 6日	養護県北ブロック施設長会議（ZOOM）	施設長
3月 7日	BCP研修（オンライン）	事務員

3月11日	栄養士講演会	栄養士
3月14日～	介護保険施設等集団指導（オンライン）	施設長・事務員

## 各委員会活動報告

### 【事故対策委員会】

事故防止委員会： 令和4年7月26日

事故防止研修： 令和4年9月29日『リスクマネジメント研修』

令和5年1月29日『介護のリスクマネジメント・ヒヤリハット事例の対処法』

★ 動画にてリスクマネジメントについての考え方や介護現場にて起こりやすい事故を確認。

事例を用い、ディスカッションを行った。リスクを正しくとらえるには、1人1人が気づいた事を共有して行く事(ヒヤリハットの活用)、慣れ・思いこみなどに注意する事。

★ 防げる事故を防ぐためにリスクを知る

◎事故報告書・ヒヤリハットについては月1回を目安に検討会を実施。早急に対応が必要な件については、早急に検討会を実施した。また、骨折などの重大事故については、日向市等へ速やかに報告書を提出した。

(まとめ)

◎コロナ感染予防対策の為、様々な行事が開催できない状況であった。圏域の感染状況等を鑑みながら、ラジオ体操や口腔体操を復活 個別リハビリや毎週水曜日の歩行運動を習慣化する事で下肢力維持を図るが、全体的には低下したと思う。

◎事故件数全体(167件)のうち、転倒事故が124件と約7割を占める。

転倒回数が多いご利用者については、居室を近くに変更したり、移動時は出来る限り見守り体制をとるようにしたものの、認知症状により落ち着きなく移動される・ご自分の身体状況について理解が乏しく危険な行動をとる事が多く、事故件数がなかなか減少しなかった。普段の状況や対応には限界がある事など丁寧にご家族に説明し、緊急時の対応や協力をお願いした所である。

◎誤薬は2件あり。ゼロにすべく、今後も基本的対策をしっかりと行っていく。

◎離設行為については、急斜面を登ったり、ほんの少しの時間で所在が分からなくなる等の事案も発生し、SOSネットワークへの登録を行った。

所在確認については、余りにも職員が見張りになると他の利用者も当該利用者を見張る行動をするようになり、それとなく見守る、という難しい塩梅であった。

◎事故発生予防委員会やリスクマネジメント研修を行ったが、最近の入所時点でかなりADL状態は悪く、畳(段差あり)の部屋で対応するにはリスクが高い方が多い事や職員が介助に時間を要するようになり見守り体制強化は今後の課題である。コロナ禍にてクラブ活動等が休止状態であるため筋力や認知機能の低下が否めない。

来年度以降の行事再開に期待したい。

## 【苦情解決委員会】

苦情解決に関する研修 令和5年3月9日【苦情の事例から、接遇を見直す】

苦情受付:0件

受付としては0件であるが、職員の態度・言葉使い等についてご利用者から不満が出る事はあり、職員会議等にてご利用者からの声を伝え、言葉使い、接遇についての再確認を行った。

養護老人ホームとしては身の回りの事が出来る方が対象であるが、介護保険施設となっている為入所時点でADLの自立度が低い方が多く、介護職員が担う部分が増加している現状がある。

その業務の煩雑さから、日常的にご利用者の話をきくゆとりが少なくなっている事や職員間の報連相不足から些細な事柄についての認識不足・処遇の違い等がご利用者の不満等へつながっているのではないかと考える。職員側もご利用者から受ける激しい叱責や執拗な訴え、過度な要望へ対応を苦慮する事が多く、ご家族の理解や協力が必要不可欠であるが、携帯電話をもつご利用者が増えた事で、直接ご家族へ状況を伝えるご利用者も多く、話がすれ違ったり、勘違いをされるご家族も多い。今後の課題と考える。

◎コロナ感染予防対策の為、外出の機会も少ないが、感染状況を見ながら制限緩和を行った。タクシーの利用は控えてもらった為、要望を伺い薬品店や衣料品店、お彼岸にはお墓詣り等の外出の機会をもうけた。数年ぶりにお墓詣りをした、と好評だったが日向市内の方限定となったため、市外のご利用者も今後同じような機会が提供できるといいと思う。

◎高次機能障害を有するご利用者が感情の抑制が効かずに、ご利用者同士、または職員との間にて些細な事でトラブルを繰り返している。都度当人と話し、相手の気持ちへの寄り添いを求めるが改善する事がなく難しい事案となっている。ご家族へも機会をみては、状況を報告し対応中である。

◎四半期ごとに「なんでも相談日」を設けており、体調面・金銭面・将来について・家族について・施設生活においての困り事や不満を伺っている所である。

相談日や自治会において利用者からでた意見は職員会議や企画会議等で検討し、処遇に反映した。

自治会での要望は、食に関する事、外出、買い物等についての要望が多く聞かれた。

## 【ご利用者の生活を豊かにする委員会】

R4年 4月 26日 / R4年 8月 23日

R4年 11月 19日 / R5年 2月 16日

～ 今年度の取り組み～

- ① 出前で食事を楽しんでいただく
- ② 施設環境の点検・美化・啓発・屋外クリーンアップ活動
- ③ 利用者の声の代弁

## 《まとめ》

- ① 出前は月に1グループ～2グループ実施した。皆さん楽しみにされており、自分はいつになるのか、と尋ねに来られる人が多かった。お寿司、うどん等が人気である。普段はあまり食べない方が全量食べられたり、他のメニューをみて「次はそれを頼もうかな」と楽しみにされている様子があった。
- ② 車いす・食堂椅子の点検は委員会のメンバーだけで行う事は時間的に難しく、行事の中に組みこみ全職員で取り組んだ。

花壇の整頓は時間を作る事が難しく、花つくりの好きな利用者に頼る場面もあった。

中庭の花が咲くと、歩きながら花を眺める方も多く会話のキッカケになっている様である。

- ③ 行事が少ない為、塗り絵や折り紙等自分の趣味がある方は好きな事を過ごしておられたが、趣味が少ない方、働きかけが必要な方は部屋にいるかじっとテレビを見ているか、という感じであった。カラオケがしたい、映画がみたい、〇〇が食べたい、と要望を言われるご利用者はほぼ毎回同じであった。あまり自分から発言されないご利用者の要望等を伺うようにしたが、要望があるご利用者も少なかった。

#### 【働きやすい職場つくりを検討する委員会】

R4年 4月 26日 / R4年 8月 21日

R4年 11月 19日 / R5年 2月 16日

##### 《今年度の取り組み》

笑顔で挨拶する。マスク着用にて表情が利用者から見えづらいので、目元の笑顔を！！

報連相をしっかりと行う。

##### 《まとめ》

利用者はもとより、職員もマスクを常時着用しており水分摂取も少なくなっている事から熱中症に関する注意喚起をおこなった。

挨拶・態度についての職員アンケートを実施。自分自身の勤務態度を振りかえる事は俯瞰的に自分を見つめる事となり、良い機会となったと思う。

#### 【広報委員会】

R4年 4月 26日 / R4年 8月 24日

R4年 11月19日 / R5年 2月 16日

##### ～今年度の取り組み～

##### 《今年度の取り組み》

寮内の掲示物を整頓し、季節感や楽しみのある掲示板を利用者と一緒につくる。

利用者に必要な情報等掲示板を利用してお知らせする。

時期ごとに写真を掲示するとご利用者が立ち止り眺めたり、話が盛り上がっていた様子。

自分の写真を貼ってほしくない方も数名おられ、配慮した。

季節の掲示物はもっとご利用者と一緒につくりたかったが、時間が足りず職員が殆ど作った。

写真撮影や絵画が趣味の方がおり、展示すると嬉しそうにされていた。

## 【感染症対策委員会】

R4年 5月19日 / R4年 8月23日  
R4年 11月17日 / R5年 2月 9日

### ◎研修

R4年 6月 16日 【新型コロナ対応、ガウンテクニック】  
R4年 11月 24日 【インフルエンザ・ノロウイルス・嘔吐物処理訓練】

新型コロナ感染予防対策を引き続き行い、ガウンテクニックや初期対応について確認した。

また、ノロウイルスやインフルエンザの研修が少なくなっていたので、行った。

さまざまな感染症に留意していかなければいけない為今後も繰り返し訓練や研修を繰り返し行っていく。

## 【給食委員会】

### 毎月実施

- ◎ 清潔に関する事、業務に関する事など『月間目標』としてより意識を持ち、翌月評価を行った。  
内容は今までも取り組んでいた事が多かったが、『目標・評価』とする事でより意識し取り組む事が出来た
- ◎ 外食等が少ない事からパンやお弁当など普段と違った物を食べたいとの希望が多く、お弁当の日や選択食での提供を行い、ご利用者からの評判もよかった。
- ◎ 積極的に旬の食材を取り入れ、誕生会では普段はあまり提供できない刺身等の献立をたてた。  
鮎・焼肉・ウナギ・お寿司等の行事食は普段の刻みを提供している方や軟飯の方でも、常食を希望する傾向にあり、摂取の様子に留意しながら希望に添って提供した。
- ◎ 体調や嚥下機能に応じた食事形態を提供し、安全にかつおいしく食べて頂ける様工夫した。  
とろみの量にバラつきが出ない様容器に明記した。
- ◎ 健康診断の結果や体重測定の推移をみてご利用者に助言を行い、医師・看護職員と連携し、補助食品や食事の工夫など、食事面でできる健康対策を実施した。
- ◎ 自治会や嗜好調査で出た意見を参考に新しいメニューの提供も行った。
- ◎ 調理器具の適切かつ丁寧な取り扱いを行い、事故防止に努めた。
- ◎ 消費期限が近付いた非常食を給食に取り入れて食べて頂いた。パンはパサパサ感が否めなかった為、シチューと一緒に提供する事でご利用者にも食べやすかった。

## 【身体拘束廃止委員会】

委員会 R4年 4月21日 / R4年 7月26日  
R4年11月17日 / R5年 2月 9日

研修会 R4年 5月26日 【身体拘束の基本】

R4年10月20日 【動画「高口光子の元気がでる介護塾」】

◎動画による研修を行った。代表的な身体拘束、見える拘束、見えない拘束(スピーチロック)等について学んだ。見える拘束は行っていないが、転倒等を防ぐ目的にて『すわってて』『待ってて』等行動を止めてしまう声掛けを行ってしまう。

業務の煩雑さがゆとりのない対応に繋がってしまうと感じる職員が多かった。

◎不適切ケアとはどういう状況なのか、17項目の不適切ケアを各自検討し、みんなで検討した。

少なからず、自分も心当たりがあるという職員が大勢であった。

腹が立つ、イライラするなどの感情はすべて悪いわけではなく、正常な感情である事、その感情に無関心な状態となる事が危ない、という内容であった。現在いるご利用者への対応についてそれぞれの場面でどういう対応をしていけばいいか、ということを繰り返しみんなで検討する必要があると学んだ。

#### 【施設内研修・会議実施状況】

月 日	実 施 内 容	特 記 事 項
4月 7日	事故対策委員会	
4月 12日	ケアカンファレンス(4件)	
4月 19日	サービス担当者会議	
4月 21日	企画会議・身体拘束廃止委員会・虐待防止委員会	
4月 26日	職員会議・各種委員会	
5月 10日	事故対策委員会	
5月 12日	ケアカンファレンス(9名)	
5月 19日	企画委員会・感染症委員会・危機管理委員会	
5月 24日	職員会議	
5月 26日	身体拘束廃止研修	
5月 30日	サービス担当者会議	
6月 7日	事故対策委員会・ケアカンファレンス(6名)	
6月 16日	感染症研修会(BCP机上訓練)	
6月 21日	サービス担当者会議	
6月 23日	企画会議	
6月 28日	職員会議、コンプライアンス・権利擁護研修	
7月 7日	事故対策委員会	
7月 19日	ケアカンファレンス(6名)	
7月 20日	サービス担当者会議	
7月 21日	BCP(防災)研修、訓練	
7月 26日	企画会議・身体拘束廃止委員会・事故発生防止委員会	
7月 28日	職員会議(書面)・各種委員会	
8月 9日	事故対策委員会	
8月 12日	ケアカンファレンス(12名)	
8月 18日	虐待研修	
8月 21日	働きやすい職場づくりを検討する委員会	
8月 23日	企画会議・感染症委員会 ご利用者の生活を豊かにする委員会	
8月 24日	サービス担当者会議	
8月 25日	職員会議・ご利用者からの苦情や要望について	



9月 8日	ケアカンファレンス(7名)	
9月 20日	企画会議・虐待防止委員会	
9月 22日	職員会議	
9月 27日	事故対策委員会・サービス担当者会議	
9月 29日	リスクマネジメント研修	
10月 4日～	新規職員オリエンテーション	
10月 4日	事故対策委員会	
10月 6日	ケアカンファレンス	
10月 18日～	新規職員オリエンテーション	
10月 18日	企画会議	
10月 20日	身体拘束廃止研修会	
10月 27日	職員会議	
10月 28日	サービス担当者会議	
11月 8日	事故対策委員会	
11月 17日	企画会議・身体拘束廃止委員会・感染症委員会	
11月 24日	職員会議・感染症研修会	
11月 29日	サービス担当者会議	
12月 13日	事故対策委員会・ケアカンファレンス	
12月 15日	企画会議	
12月 26日	サービス担当者会議	
12月 29日	職員会議・BCP(机上訓練)	
1月 12日	事故対策委員会	
1月 19日	企画会議	
1月 23日	サービス担当者会議	
1月 26日	事故発生防止研修会・職員会議	
1月 29日	事故防止研修	
2月 1日～	新規職員オリエンテーション	
2月 2日	事故対策委員会	
2月 7日	入所検討会	
2月 9日	企画会議・身体拘束廃止委員会・感染症委員会	
2月 13日	ケアカンファレンス・	
2月 16日	職員会議・各種委員会	
2月 17日	救急蘇生法研修	
2月 28日	サービス担当者会議	
3月 7日	事故対策委員会・入所検討会	
3月 9日	苦情解決・接遇研修会	
3月 14日	ケアカンファレンス	
3月 22日	企画会議	
3月 27日	サービス担当者会議	
3月 30日	職員会議	

今年度は、3名の入職があった。

1、事務職(未経験) 2、介護職(未経験) 3、介護職(経験あり。他施設からの異動)  
業種や経験値に応じてオリエンテーションの実施内容を検討して行った。

#### 【レクリエーション実行委員会】【納涼祭実行委員会】

10月に秋祭りとして納涼祭・レクリエーション大会の代替えとして企画した。

ミニゲームを3種類、その後食堂にて屋台風のおやつ(チョコバナナ等)を準備した。

時間は3時間くらいゆつくりと取っていたが、次々と利用者がゲームに来たことで慌ててしまい、食堂対応の職員が手薄になるなど課題も多く残った。しかし、ご利用者からは久しぶりにワイワイと楽しく過ごせた、との声があがっていた。

#### 【敬老祝賀会】

今年も来賓は招かずご利用者と職員のみでの式典となった。100歳1名、99歳3名をはじめ90歳以上が21名と3分の1は90歳のご利用者であった。職員からお祝いとしてひよっとこ踊りを披露すると、ご利用者からは拍手や笑い声のでて楽しまれた様だった。

各行事の後に広報誌を発行し、ご家族・関連機関へ発送した。

遠方のご家族や面会の機会が少ない方等へは相談員より情報書を添えて最近の状態や気になる点について報告を行う事で、その後の面会や相談に繋げることが出来た。

遠方の方は直接の面会が難しいが、オンラインで面会が可能となったので利用される方が増えてきた様に思う。

また、虐待対応中のご家族で新聞への写真掲載が出来ない方については、写真を郵送時に写真を添え状況の報告を行った。

(5) 地域等との交流状況 (令和4年度)

体験学習・実習・視察等 施設来寮状況

月 日	団 体 名	特 記 事 項
5月	入所者現況調査(門川町:書面報告)	対象者1名
9月27日	日向市福祉課 生活保護係 聞き取り	対象者4名
1月	入所者現況調査(延岡市:書面報告)	対象者1名
2月	入所者現況調査(都農町:書面報告)	対象者1名
3月2・3日	富島高校インターンシップ	実習生徒2名
3月	入所者現況調査(日向市:書面報告)	対象者47名

社会福祉施設に係る指導監査及び実地指導

月 日	内容	主な検査項目	備考
5月18日	内部監査	令和3年度会計及び事業監査	
11月 7日	県指導監査	指導監査及び実地指導	

慰問・ボランティア・地域交流実績

月 日	団 体 名	特 記 事 項
10月25日	買物ツアー(日向社協)	イオン日向まで(2名)
11月10日	買物ツアー(日向社協)	イオン日向まで(1名)
11月22日	買物ツアー(日向社協)	イオン日向まで(1名)
12月 8日	買物ツアー(日向社協)	イオン日向まで(3名)
2月 28日	買物ツアー(日向社協)	イオン日向まで(2名)

日時	火点等	参加者
4月 7日	洗濯室より出火（夜勤想定）	利用者 45名 職員 14名
5月 12日	給湯室より出火（夜勤想定）	利用者 46名 職員 13名
6月 2日	洗濯室より出火（夜勤想定）	利用者 48名 職員 12名
7月	医療法人内にてコロナ感染発生を受け中止	
8月 4日	支援室より出火（夜勤想定）	利用者 48名 職員 10名
9月 1日	事務所より出火（夜勤想定）	利用者 47名 職員 13名
10月 6日	医務室より出火（夜勤想定）	利用者 45名 職員 12名
11月 17日	面会室より出火（夜勤想定）・消火訓練	利用者 50名 職員 13名
12月 1日	静養室より出火（夜勤想定）	利用者 50名 職員 13名
1月 12日	警備員室より出火（夜勤想定）	利用者 50名 職員 12名
2月 2日	竹1号室より出火（夜勤想定）	利用者 49名 職員 11名
2月 17日	救急蘇生法	職員 24名
3月 16日	松15号より出火（夜勤想定）	利用者 50名 職員 13名

関係機関合同会議

日時	実施内容	備考
6月10日	清風会理事会	
6月27日	清風会評議員会	
11月18日	清風会理事会	
11月29日	清風会評議員会	
2月22日	清風会相談員部会	
3月17日	清風会理事会	
3月29日	清風会評議員会	

令和4年度 入退所状況

入 所 者				退 所 者			
入所年月日	性別	年齢	入所前	退所年月日	性別	年齢	退所後
R4. 5. 16	女	93	自宅	R4. 4. 23	女	96	死亡
R4. 6. 9	女	96	自宅	R4. 4. 27	女	94	死亡
R4. 6. 22	女	89	自宅	R4. 5. 9	女	93	介護保険施設
R4. 7. 4	女	90	自宅	R4. 5. 16	男	76	自宅
R4. 7. 11	女	83	自宅	R4. 5. 23	男	86	医療機関
R4. 8. 31	女	72	自宅	R4. 7. 4	男	81	医療機関
R4. 9. 7	男	87	自宅	R4. 7. 19	女	100	介護保険施設
R4. 10. 11	女	73	自宅	R4. 9. 13	女	89	医療機関
R4. 10. 28	男	74	医療機関	R4. 9. 14	女	88	死亡
R4. 12. 7	女	76	自宅	R4. 10. 25	女	91	死亡
R4. 12. 13	女	87	自宅	R4. 11. 8	男	92	医療機関
R4. 12. 21	女	74	他施設	R4. 11. 14	女	100	死亡
R5. 2. 1	女	90	自宅	R5. 1. 4	女	94	死亡
R5. 3. 22	女	83	医療機関	R5. 1. 10	女	98	死亡
R5. 3. 30	女	90	自宅	R5. 3. 20	女	100	死亡

## 入所者状況

令和4年 3月31日現在

### 【年齢状況】

	65～69	70～79	80～89	90～99	100～	計	最高年齢	平均年齢
男性	1	8	6	2	2	19	100歳	81歳
女性	0	7	15	17	0	39	97歳	86歳
合計	1	15	21	19	2	58	100歳	85歳

### 【在所年数状況】

	1年未満	1年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年～ 15年未満	15年以上	計	最高在所日数	在所平均年数
男性	2	8	8	1	0	19	13年11ヶ月	4年10か月
女性	13	15	10	1	0	39	10年	3年7か月
合計	15	23	18	2	0	58	13年11ヶ月	4年

### 【所管別状況】

	日向市	美郷町	諸塚村	延岡市	門川町	都農町	合計
男性	15	1	2	1	0	0	19
女性	33	2	1	0	2	1	39
合計	48	3	3	1	2	1	58

### 【要介護認定者の状況】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	0	3	1	1	1	0	6
女性	0	0	7	4	0	1	0	12
合計	0	0	10	5	1	2	0	18

【移動状況】

	自立	シルバーカー	歩行器	車椅子	杖	介助 (車椅子使用含)	合計
男性	12	1	1	0	3	2	19
女性	15	2	7	3	5	7	39
合計	27	3	8	3	8	9	58

【排泄状況】

	自立	声かけ誘導	介助 (見守りを含む)	計	尿取りパット 使用	紙パンツ使用 (夜間のみ含)	合計
男性	12	1	6	19	0	4	4
女性	31	3	5	39	9	9	18
合計	43	4	11	58	9	13	21

【入浴状況】

	自立	一部介助	全介助	見守り	合計
男性	6	8	5	0	19
女性	6	12	11	10	39
合計	12	20	16	10	58